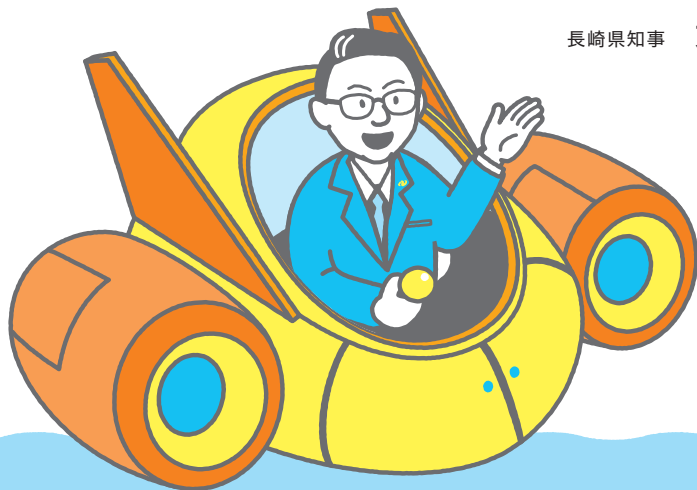


なぜ
つくれたの？

人口減少による地域活力の低下など、将来への不安や憂いを払拭し、本県への誇りや未来への期待感を持ち、新しい長崎県を築いていきたいとの思いから本ビジョンを策定します。

本ビジョンは、県内外の多方面から選ばれる「新しい長崎県」の実現に向けて、様々な立場の皆様が思いを一つにして、有機的に連携しながら取組を進めるための旗印とするため、今後重点的に注力する分野の概ね10年後のありたい姿とその実現に向けた施策の方向性をわかりやすくお示しするものです。

長崎県知事 大石 賢吾



| | |
|--------|----------------------------|
| 目次 | 02 現状、課題 |
| | 03 ビジョンのコンセプト |
| | 05 未来大国の実現に向けて重点的に取り組む主な分野 |
| | 主な分野のありたい姿とその実現に向けた施策の方向性 |
| 07 こども | |

| |
|----------------|
| 09 交流 |
| 11 イノベーション |
| 13 食 |
| 15 施策を貫く視点 |
| 17 ビジョンの実現に向けて |

現状、課題

時代の潮流

いま、どうなっているの？

人口減少や少子高齢化に伴う労働力人口の減少に加え、新型コロナウイルス感染症の影響等を受けて、新たな社会経済システムへの転換が進められつつあります。

また、グローバル化やデジタル化、カーボンニュートラル実現に向けた社会・経済のグリーン化などの影響により、人々の意識や行動が多様化するとともに、生活の質や精神的な豊かさを重視する傾向が高まっています。



長崎県の現状と課題

本県は、離島・半島地域を多く有し、人口減少や少子高齢化が全国よりも早く進んでいます。

こうしたことから、労働力不足や地域経済の縮小、公共交通・地域コミュニティの維持・確保の問題など様々な影響が全国に先駆けて顕在化することが懸念されている「課題先進県」と言えます。しかし、見方を変えれば、遠からず同じような課題に直面するであろう他の地域に先駆けて、課題解決に向けた最先端技術の社会実装などを進めていくチャンスがあると言えます。



長崎県が持つポテンシャル

本県は、変化に富んだ美しく豊かな自然、海外の文物や文化を受け入れながら多くの人と交流し栄えてきた歴史と個性豊かな文化、日本の本土最西端に位置しアジアに最も近い地理的優位性など、多くのポテンシャルを有しています。

また、西九州新幹線開業に伴う県内各地の活性化、スタジアムシティプロジェクトなど「まち」の佇まいが大きく変わるプロジェクトが進展しています。

加えて、大手企業の研究開発拠点の立地が進むとともに、「半導体関連産業」「航空機関連産業」「海洋エネルギー関連産業」といった成長分野における新たな動きなど、産業構造に大きな変化が生じており、まさに100年に一度の変革の時期を迎えています。

